

頌徳会グループのご案内 (令和4年6月1日現在)

日野病院 外来診療時間表 (堺市東区北野田626番地 TEL 072-235-0090)

●訪問診療 ●訪問リハビリテーション ●訪問服薬指導
●通所リハビリテーション
●時間外診療 有 ●無料送迎バス運行(北野田駅⇄日野病院)

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	●	●	●	●	●	●	専門診療科と連携しつつ総合的な視野で診療を行っています 訪問診療も対応しています
	午後	—	—	—	—	●	—	
脳神経外科	午前	—	●	—	—	●	●	脳神経全般に関する診断から治療までを行っています MRIによる検査も受付けています 訪問診療(脳梗塞等)も対応しています
	午後	●	●	—	—	●	—	
整形外科	午前	●	●	—	—	●	—	レントゲン・CT・MRI撮影などにより診断・治療を行っています
	午後	—	—	—	—	—	●	
外科	午前	—	—	—	—	—	●	軽度な外傷の治療を行っています(診療日は第1・3・4・5週)
	午後	●	—	●	—	—	—	

日野クリニック 外来診療時間表 (堺市中区深井中町1248番地 TEL 072-276-5111)

●訪問リハビリテーション ●デイケア ●メディカルフィットネスソレイユ
●夜間・土曜診療 有

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	一般内科の他、循環器、呼吸器疾患を主に診療しており、 胃カメラ、超音波などの検査が可能です
	午後 13:30~16:30	●	●	●	—	●	—	
	夜間 17:30~19:30	●	—	●	—	●	—	
整形外科	午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	レントゲン・CTなどを利用して総合的に診断しています (木曜日の受け付けは、11:00までとなっています)
	午後 13:30~16:30	●	●	●	—	●	—	
	夜間 17:30~19:30	●	—	●	—	●	—	
リハビリテーション	午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	理学療法士によるリハビリテーションを行っています (受け付けは、終了時間の30分前までとなっています)
	午後 13:30~16:30	●	●	●	—	●	—	
	夜間 17:30~19:30	●	—	●	—	●	—	
皮膚科	午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	皮膚疾患の他、膠原病、リウマチ疾患も診断しています
	午後 13:30~16:30	●	●	—	—	●	—	
	夜間 17:30~19:30	●	—	●	—	●	—	
アレルギー科	午前 9:00~12:00	●	●	●	—	●	●	乳児の食物アレルギーも診断しています (土曜日は第1・3・5週に診療を行っています)
	午後 13:30~16:30	—	—	—	—	—	—	
	夜間 17:30~19:30	●	—	●	—	●	—	
形成外科	午前 9:00~12:00	—	—	●	—	—	—	水曜日午後診のみ予約制で手術を行っています ほくろ・脂肪腫・ひきつれ等以外にも様々な疾患を取り扱って いますので、ご相談ください
	午後 13:30~16:30	—	—	●	—	—	—	
	夜間 17:30~19:30	—	—	—	—	—	—	
禁煙外来	午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	—	薬の供給が停止しているため、新規の患者さんの受け入れは 休止しています
	午後 13:30~16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30~19:30	●	—	●	—	●	—	
腎臓内科	午前 9:00~12:00	—	—	—	—	—	—	腎臓病と腎臓病に付随する疾患の診断と治療を行っています (完全予約制)
	午後 13:30~16:30	—	●	●	—	●	—	
	夜間 17:30~19:30	—	—	—	—	—	—	

日野クリニック 血液浄化(人工透析・血漿交換など)時間表

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
早朝透析	6:00~	—	●	—	●	—	●	穿刺時痛の軽減を図るためにペイレシニードルによる ボタンホール穿刺を行っています 1日を有意義にすごしていただくために朝6時からの早 朝透析を行っています。 ※無料送迎バス完備
午前透析	8:30~	●	●	●	●	●	●	
午後透析	~17:00	●	●	●	●	●	●	
夜間透析	~22:00	●	—	●	—	●	—	

介護老人保健施設 ソルヴィラージュ	堺市東区北野田636番地	TEL 072-235-5800	●入所・ショート(短期入所):150名 ●デイケア:100名
介護老人福祉施設 ソルメゾン	堺市東区菩提町2丁62番地1	TEL 072-288-2008	●入居:80名/ショート(短期入所):20名 ●デイサービス50名
看護小規模多機能型居宅介護 ソルテイル	堺市東区菩提町2丁65番地	TEL 072-287-3300	●登録定員:29名 ●通いサービス定員:15名 ●泊まりサービス定員:9名
おひさま訪問看護ステーション初芝	堺市東区菩提町2丁65番地	TEL 072-287-3330	[自宅にしながら24時間体制で医療・介護の面から必要な看護サービス を提供します]
おひさまケアプランセンター	堺市東区北野田626番地	TEL 072-235-7722	[ケアマネージャーが要介護認定の申請代行等、介護サービス利用の お手伝いをします]

★最新情報をホームページ <http://www.syo.or.jp/> に掲載しています。ご見学、ご相談など随時承っておりますので、お気軽に各施設までお問い合わせください。



地球環境保護のため、この印刷物はベジタブルインキを使用しています。
また、有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。

ひだまり

2022
夏号
Vol. III No.60

特集 日野病院 医療体制強化への取り組みについて

頌徳会グループお役立ち情報

理事長コラム

頌徳会グループのご案内



Primary Ship
頌徳会グループ



日野病院 医療体制強化への取り組みについて

令和4年4月1日より、湯浅副院長・西川副院長がそれぞれ就任しました。今回の特集では、両副院長が主導する医療体制強化への取り組みについてご紹介します。

■地域医療連携強化に向けた取り組み



副院長 湯浅 義人

脳卒中患者のリハビリテーションについて、早期から1日あたりのリハをより多く行うと早期離床につながり、機能障害やADLを改善させるとの報告が多数あります。

当院でもかねてより、迅速な受け入れ、多くのリハ時間の提供に注力してまいりましたが、この度さらなる転院待ちの期間の短縮を目標に、地域医療連携室と定時連絡を実施し、ご紹介いただいた内容を遅滞なく評価し、ご返信する取り組みを始めました。

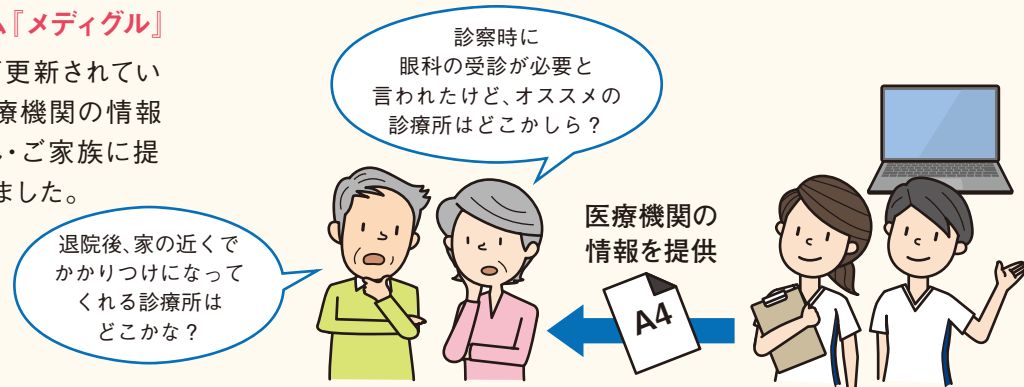
これらの取り組みの結果、転院待ち期間の短縮が得られています。

早期転院患者へのリハ提供時間に関しましても、西川副院長に協力いただき、さらに増やすよう取り組んでいます。今後も地域医療連携室と協力し、微力ながら地域医療に貢献できるよう尽力する所存です。

■地域医療連携室でのICT(情報通信技術)活用について

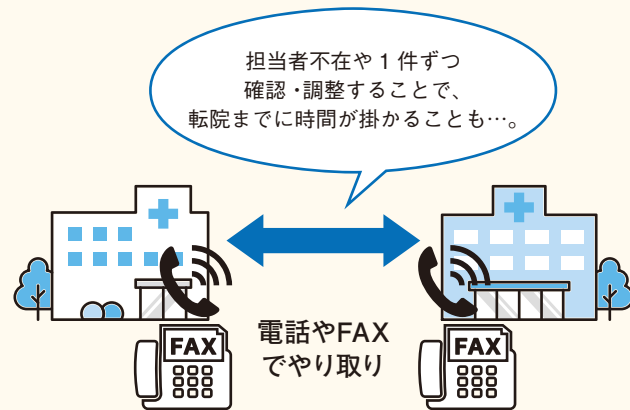
①地域医療連携システム『メディグル』

随時、医療機関の情報が更新されているため、最新の正確な医療機関の情報を、スピーディーに患者さん・ご家族に提示することが可能になりました。

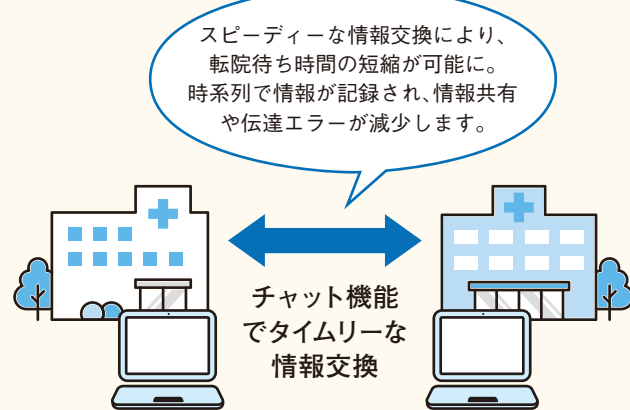


②入退院支援クラウド『ケアブックコネクト』

Before 『ケアブックコネクト』導入前



After 『ケアブックコネクト』を導入している病院同士では



■日常生活リハビリテーションへの取り組み



副院長 西川 学

リハビリテーションは単なる機能回復訓練にととまらず、日常生活に応用できてはじめて有用です。そのため当院では生活リハビリテーションに力をいれています。

生活リハビリテーションとは、入浴や着替え及び排泄など、日常生活に不可欠な動作それ自体をリハビリテーションとして日常生活練習をすることです。

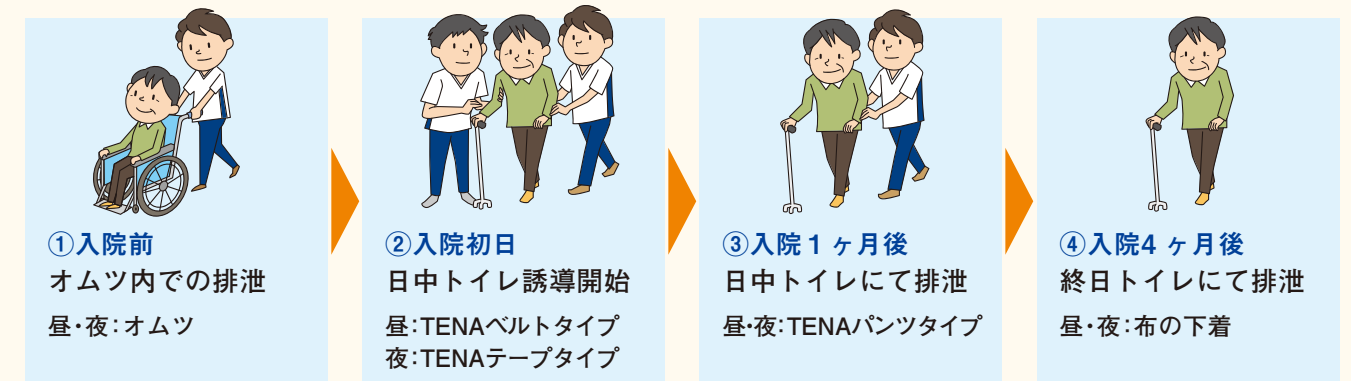
また、病院という限られた環境で問題なくできていた動作でもご自宅で再現できないようでは困ります。

そこで入院時よりご自宅での環境を想定してリハビリテーションを進めています。これらの取り組みが、退院後スムーズに社会生活をスタートしていただく役に立てばと考えています。

■‘TENA’を使用し、トレイでの排泄が可能となった事例を紹介します

40歳代の男性がバイク事故により、多発外傷・脳出血を受傷、急性期病院での治療後、リハ目的で当院へ入院となったケースを紹介します。

当院での排泄に関する取り組み経過



トイレでの排泄が可能となったPOINT

①TENAベルトタイプの導入
当初は立位が不安定であったが、装着が容易なTENAベルトタイプを導入できたことで、トイレへの誘導が早期に実現した。

②「オムツ・リハパンツ脱却基準」による適切なタイミングでの‘トイレへの誘導’の実施

早くトイレに連れて行ってほしいと思っていました。入院初日からトイレに連れて行ってくれて嬉しかったです。

【TENAベルトタイプの特長】

可動域が大きく、動きに合わせてフィットします。これからトイレ練習をしていく方には、患者負担なく始めていただけます。

オムツの状態入院したのに、最終的に布の下着でトイレでの排泄ができるようになって本当に良かった。

日野病院 電子サインシステムの導入により、文書記載・署名を簡素化します

令和4年7月より電子サインシステム“ARTERIAモバイルシステム”を導入することとなりました。

これにより外来時の問診票、入院時・入院中の各種届出・契約書・同意書等の確認・記載・署名がシステム上で完結することで、記載時の負担軽減、転記ミス削減、情報漏洩リスクの低減を図ります。

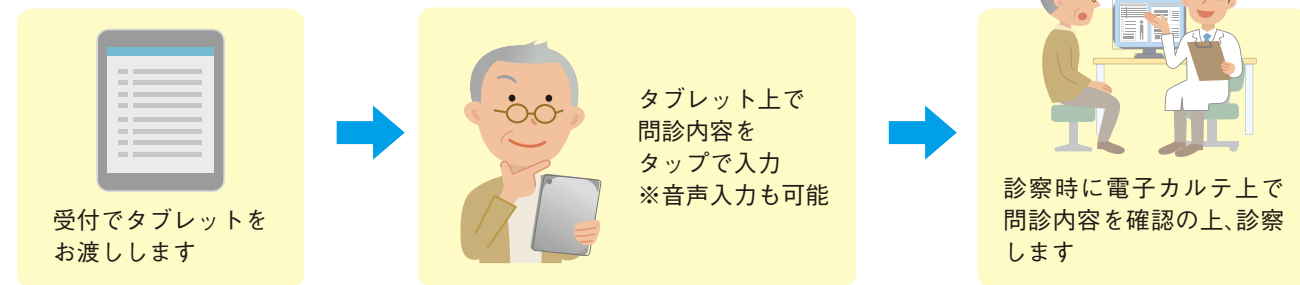
【患者さんのメリット】

- 拡大表示が簡単にできるので、年配の方にも読みやすく、記入しやすくなります。
- 複数の署名も一度の署名で一括で完了するので、様々な手続き時間が短縮されます。

【今後の展開について】

- WEB予約サービスとの連携により来院前に問診票へ記入することで、来院から診察迄がよりスムーズになります。
- 入院時の必要書類をブラウザ上で提供し、事前に確認・署名することで、入院手続きが時間短縮されます。

◎外来で問診票を記入する場合



介護老人福祉施設 ソルメゾン 介護食改善の取り組みについて

ソルメゾンでは、咀嚼や嚥下困難なご利用者が普通の食事同様に「味」「香り」「見た目」が変わらない食事を召し上がっていただけるようイーエヌ大塚製薬(株)が開発した介護食「あいと」を導入しました。

【お食事改善ポイント】

- 「味」「香り」「見た目」ができる限り普通の食事と変わらないものを提供する。
- 咀嚼・嚥下が困難な方にも安心して食べられる柔らかい食事を提供する。

Before

▼ サバの塩焼きと付け合せ
極キザミ食 ムース食



食事はとりやすくなるが、「食欲が出ない＝低栄養状態を招く」「飲み込む能力が低い方には誤嚥リスクが上がる」可能性も…。

After

▲ 肉じゃが



普通の食事と変わらないしっかりとした味付けです。出汁の風味や香味・コクを追求し、香りや風味も楽しめます。

【イーエヌ大塚製薬(株)独自技術 酵素均質浸透法】



見た目はそのままですが、スプーンで軽く押しつけただけでつぶせる柔らかさになっています。

日野クリニック アレルギー性鼻炎舌下免疫療法について



名誉院長 小塚 雄民
皮膚科・アレルギー科

アレルギー性鼻炎ではスギ花粉・ダニ等のアレルゲンが鼻腔に入ると、くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどが起こります。ところが、アレルゲンが口腔から入るとアレルギー反応を抑制することが分かってきました。

血液アレルギー検査を行い、鼻炎がスギまたはダニによるものか確定診断をおこなったのちに、病因となったアレルゲンを舌下に服用する治療法を舌下免疫療法と呼びます。

2月から3月のスギ花粉飛散時期はスギ花粉に対する過敏性が高まっている場合が多いので、その季節は避け、7月から12月頃に治療を開始します。スギ花粉アレルゲンまたはダニアレルゲンを原料とする錠剤を舌下(舌の裏)に置く錠剤はすぐ溶けませんが、1分間はそのままにして、その後飲み込みます。スギ花粉症の場合、初回から1週間は少量のスギ花粉舌下錠、副作用がなければ2週目以降は増量し、1日1回1錠を舌下内服します。副作用として投与開始初期に口腔浮腫・腫脹、咽喉頭刺激感、咽喉頭不快感などアレルギー反応がでることがあります。舌下免疫療法は、即効性は期待できませんが、鼻炎症状の改善、薬剤使用量の減少が期待されます。3年以上、毎日、舌下療法を継続することが推奨されています。

看護小規模多機能型居宅介護 ソルテイル 看護小規模多機能型居宅介護 『ソルテイル』のご利用事例を紹介します

ソルテイルをご夫婦(91歳と86歳のご夫婦)で利用されている方の事例を紹介いたします。今回は看護小規模多機能型居宅介護のメリットを活用することで、ご利用者ご夫婦の希望を実現しました。

【ご利用開始時の課題】

ご夫婦は、「夫婦で自宅で一緒に過ごす時間をできるだけ増やしたい」との強い希望があり、同居の娘さん夫婦もその希望をできる限り叶えてあげたいが、共働きのために介護負担が重くなりすぎない点への配慮も必要というケースでした。

【解決案として】

看護小規模多機能型居宅介護のメリット『「通い」「泊まり」「訪問」の自由な組み合わせ』『同一スタッフによるサービス提供』を最大限活かすことに…。

- 解決案① 平日日中はご夫婦での「通い」サービスの利用を中心に据えることで、ご夫婦一緒の時間を増やし、かつ同居家族が仕事に専念できる環境を構築する。
- 解決案② 同居家族の介護負担軽減のために、隔週の土・日・月に「泊まり」サービスを利用する。
- 解決案③ 自宅での医療的な処置が必要な点は、「訪問看護」でカバーし、施設内でも情報共有する。

【利用開始後のご家族の声】

- 共働きの私たちにとって、自分たちの都合に合わせた時間でサービスを組んでくれたのでとても助かりました。
- 看護師が常にいる安心感。細かい体調の変化にもすぐに気づいていただき、大事に至らなかったことはとても感謝しています。
- 今までの父はあまり意欲的ではなかったのですが、母と一緒に利用することになってからは、「行きたい」と言うようになり、積極的な行動が多くみられるようになりました。



シリーズ 第3弾 「ケアプランセンターの選定について」

介護認定結果が出た後のSTEPは「ケアプランセンターの選定」です。ケアプランセンターとは、ケアマネジャーが在籍している事業所です。ケアマネジャーはご利用者・ご家族と、介護サービス事業所の仲介役を担います。

ケアプランセンター選びは、とても重要です！

ケアプランセンターの選定は、役所窓口を設置されている一覧などから選ぶ方法がありますが、以下の点が整っているか確認することも一つの方法です。

① 運営母体に医療・介護施設がある

医療機関や介護施設を併設している場合、医療従事者や相談員と連携が取りやすく、緊急の入院・入所への対応に期待できます。また、レスパイト入院や、定期的なショートステイの調整もスムーズです。

② すぐに連絡がつく体制

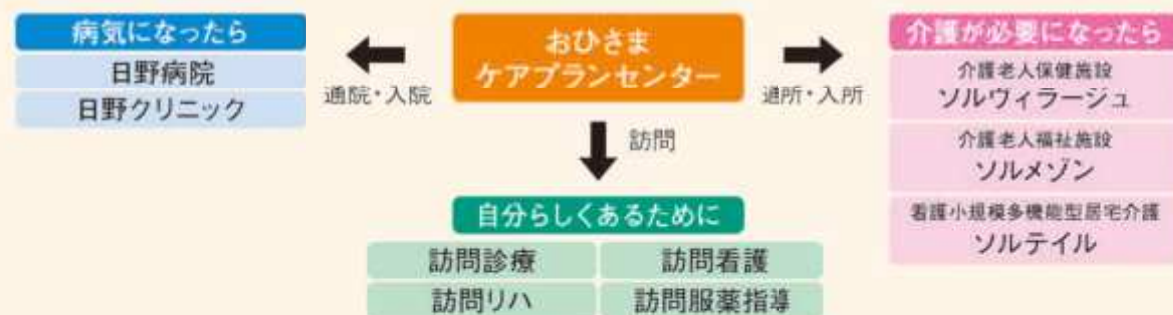
もちろん「自宅から近い」というのも選択肢の一つです。運営母体に医療機関がある場合は、受診希望の連絡など、24時間体制で対応可能なケースもあります。

③ ご利用者の状況・ニーズに合った分野の資格・経験を持つケアマネジャーがいる

ケアマネジャーには、国家資格保有者や介護施設の相談員などがいます。介護保険サービスを利用される方の、「持病」「家庭環境・経済面」「希望する介助内容」によって、選択されるとよいでしょう。

- 例**
- ・持病があり、医療面が心配な場合・・・看護師資格を持つケアマネジャー
 - ・介護度が高く、身体介護や家事支援の必要がある場合・・・介護福祉士資格を持つケアマネジャー

日野病院併設「おひさまケアプランセンター」は、運営母体に医療・介護施設があり、日野病院については受診希望時は24時間電話が繋がります体制が整っています。



最後に、ポイントの一つとして、ケアマネジャーとの信頼関係・相性です。経験や知識が豊富であることも大事ですが、何より、「自分の話を親身になって聞いてくれるか」です。

おひさまケアプランセンターでは、上記のことを心がけながら、日々業務に取り組んでいます。

「おひさまケアプランセンター」では、ご自宅等で生活を送る要介護・要支援状態にある方が、適切に介護サービスを利用できるよう、様々な相談を受けたり、手続き等の代行を行います。介護に関する相談や代行申請は無料です。



まずは、お電話を！ おひさまケアプランセンター直通番号：072-235-7722



以前も触れましたが、囲碁の井山裕太四冠は私の師匠、石井邦生九段門下で言うなれば弟子というご縁があります。ひと昔前は彼の活躍を石井先生からの連絡や新聞等の報道で知ることが普通でしたが、今はネット中継が一般的になり、都合の良い時間、場所での観戦が可能となりました。そんな中、先日行われた本因坊戦というタイトル(防衛)戦の第一局は凄まじい戦いでした。二日間に及ぶ対局は30時間以上を要し、盤面をほぼ使いきった357手、0.5目差で井山四冠が勝利しました。囲碁界では既に後世に残る名局と謳われています。

対局内容もさることながら、私が興味深く感じたのはコンピューターによる形勢判断、いわゆる勝敗予測です。最近、ネット中継されるような大きな対局では、盤

面の側に随時AIによる勝率が示されています。本局では終始井山四冠劣勢との判定で、一時は勝率が1桁台とほぼ絶望的な推移をしていたのですが、AIには見えていなかった世界が井山四冠には見えていたのでしょうか。

頌徳会でも電子カルテの導入や定型業務のRPA*化等、デジタル技術を活用した業務の効率化を進めています。これによりヒューマンエラーの撲滅も期待されます。しかし、本当に重要なのは、システム化で生み出された職員の時間、いわゆるマンパワーをどのように活用し、患者さんやご利用者に還元していくのかということです。私は先の井山四冠の勝利にそのヒントが隠されていると思います。AIが及ばない領域、計算だけでは生み出せないプラスアルファのサービスを患者さんやご利用者に提供できるよう職員には考え、努力してもらいたいと思っています。

※RPA … RPAとは「Robotic Process Automation(ロボティック・プロセス・オートメーション)」の略で、人がパソコンで行っている事務作業を自動化できるソフトウェアロボット技術のことです。「決まった手順の定型業務」繰り返しおこなうルーティンワークなどの自動化に活用されます。

頌徳会グループ 日野病院 救急自動車に関してNHKの取材を受けました

日野病院の救急自動車がNHKテレビ番組「ニュースきん5時」の取材を受けました。

救急自動車や福祉車両などのカスタマイズを幅広く手掛ける自動車整備会社「CKCompany(有)」遠藤弘教社長への取材を通して、日野病院が購入している同社カスタマイズの救急自動車の使い心地やメリットなどについて、導入した側からの視点で取材を受けました。

患者さんからのお手紙紹介

日野クリニックをご利用されている患者さんより、ご意見箱にて励ましの投書をいただきましたのでご紹介します。

初めて御世話になりましたが、感動する事が多数あります。

先生、リハビリの方、受付、ナースさんの患者に接する姿は南大阪で一番だと思います。他院国立のKC、OR病院以上のクオリティを感じます。スタッフのレベルは非常に高いです。近所の方にもお知らせしたいです。予約時間の必要でないのは患者にとっては非常に大きなメリットです。

今後も南大阪一のリーダー院になってください。